

請 願 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	3 5 7	受 理 年 月 日	令 和 6 年 12 月 5 日
件 名	保育制度の拡充		
要 旨	<p>私たちは、真に子供の最善の利益が保障される保育制度の充実・発展を願っているが、京都市はその願いに十分に応えられていないと思う。子供・保護者・保育者など保育関係者の保育環境が改善されるよう、制度の見直しを実施してほしい。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民間の保育園・認定こども園・小規模保育事業所の職員処遇について、勤続年数に応じた処遇保障にすること（現在は11年でストップ）。 2 国の保育制度改善（運営費・配置基準の引上げ）を踏まえ、京都市の保育制度を更に改善すること。 3 民間の保育園・認定こども園・小規模保育事業所の定員割れ対策として、他都市でも導入されている定員払い制（在籍児童数でなく定員に基づく運営費給付）の実施をすること。 4 保育園（所）・認定こども園・小規模保育事業所の保育料及び給食費の無償化・軽減を図ること。 		
請 願 者			
紹 介 議 員	やまね智史、えもとかよこ、赤阪 仁、河合ようこ、井崎 敦子		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		